

長根だより

令和7年10月15日

10月号

長根小 学校通信

【校訓】 強く 明るく よく励む

自分で納得した考えをもつ力を

長根小学校長 三宅 勝之

最近、話題となっている「スマホ条例」。この取り組みは、子どもたちの健やかな成長をふくめ、市民の、生活習慣などへの悪影響を防ごうとする思いから生まれたものです。

文部科学省が公表した昨年度の「全国学力・学習状況調査」の結果によると、テレビゲームをする時間は小・中学生とも横ばい、SNS・動画視聴の時間は、小学生は横ばい、中学生は微増の傾向ではあります。一方で、小学校児童の約21%、中学校生徒の約32%が、普段1日当たり3時間以上SNSや動画視聴などをすると回答しました。また、普段テレビゲームをする時間が1日当たり3時間以上であるグループ（児童生徒の約30%）は、1日当たり3時間未満のグループより勉強時間が短く、毎日同じくらいの時刻に寝ていないという傾向が見られました。

こうした調査結果を踏まえると、スマホの長時間使用が学力や生活習慣に影響を与える可能性は否定できません。しかし、条例に対しては「家庭の事情に合わせた柔軟な対応が必要」「個人の自由であり一律の制限はおかしい」といった反対意見もあります。また、今年度の「全国学力・学習状況調査」の結果からは、PC・タブレット端末などのICT機器に対する活用技能が高いほど、各教科の正答率が高くなる傾向も見られます。単純な賛成・反対の二項対立では語りきれない問題です。

これらをもとに、私たちもスマホとの付き合い方を見直す機会にできたらと思います。子どもたちが自分自身で考え、納得したうえで、自分なりのルールをもつことが大切です。「いわれたから、決められたから」といった受け身の判断ではなく、「自分はこう考えるから、こう使う」と説明できる力を育てていきたいものです。

スマホやゲームは、子どもたちの「自己調整力」や「判断力」を育てる絶好の教材です。ご家庭でも、ぜひ子どもたちと一緒にルールを考え、話し合う時間をもっていただければと思います。

これからも、子どもたちが自分で考え、納得して行動できる力を育てるために、学校・家庭・地域が一体となって取り組んでまいります。引き続き、長根小学校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

未来につながる子どもたちへ No.87

夢を育てる 考える力

「なぜ?」と問いをもち、考える力を育むことは、未来を切り拓く第一歩です。自分の頭で考え、試行錯誤する経験は、やがて自分だけの夢や目標につながっていきます。答えがすぐに見つからなくても構いません。大切なのは、問いを持ち続けること。その積み重ねが、自分の未来を形づくる力になるのです。